



委員会宣言（案）

JR東労組千葉地本は、千葉市民会館小ホールにおいて「第46回定期地本委員会」を開催し、「2026JR総連春闘」スローガンに基づき、ベア一律18,000円、夏季手当3.2ヶ月+5万円要求満額獲得に向けてたたかっていくこと、安全文化の再構築を職場からつくり出すこと、あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さないたたかいを強化して、傲慢な経営姿勢に立ち向かっていくことを満場一致で確認した。

昨年の定期大会の教訓をもとに、職場の現実や職場の声を正しくつかみ、組合員とともにたたかいはつくり出してきた。2025年5月に提案された「組織再編」「新人事・賃金制度」「グループ経営ビジョン勇翔2034」を三位一体とする新たな施策に対して、たたかいのスローガンを掲げて、集会の開催や各種代表者会議、旗開き、職場集会など組合員からの声をもとに諦めずたたかいはつくり出し、「2026JR総連春闘」を仲間と共に粘り強くたたかっていく。しかし、2月2日付で会社から「新賃金・夏季手当について」の通知が出され「全社員の職務能力給を一万円以上増額しベースが引き上がることで、また他の手当等の平均支給額も大幅に増額となることを踏まえ、検討していく」と一方的に通告してきた。制度改正を理由にベアを抑制することは、春闘破壊であり到底許すことはできない。賃金は、たたかいはつくり出すものとして、組合員の「生活実感」や「労働実感」に基づいて堂々と要求し、満額獲得のために、春闘集会や職場集会に最大限の結集をつくり出していく。

1月16日の停電による輸送障害において国土交通省関東運輸局から警告書が出された。続く2月2日の八丁堀駅での発煙に対して、国土交通省からJR東日本に対して原因究明と再発防止策の検討を指示したにもかかわらず、2月8日には宇都宮線栗橋～間々田間で架線切断が発生した。10日の社長記者会見では、コロナ禍の3年間で修繕費を800億円も削減していたことが明らかになった。また、今後の取り組みとして、技術系の採用を従来計画より約150名増加することを示したが、安全に関する設備投資の削減や要員不足が事故・事象に起因していることが明白になった。安全軽視、現場軽視の経営姿勢は断じて許すことはできない！

千葉でも、大網駅4番線で旅客を引きずり、怪我を負わせた鉄道人身傷害事故が発生した。ITVの視認性に対して、職場から見えづらいとの声が出ていたにもかかわらず、会社は対策を講じなかった。これは、起こるべくして起きた事故と言わざるを得ない。私たちは、同種の事故を起こさないため、原因究明委員会を定着させて再発防止に取り組む。安全軽視の会社姿勢に対し、労働組合として、安全第一主義、現場第一主義を貫いていく。

中央・総武緩行線のワンマン運転が実施されようとしているが、実際に、大規模輸送障害が多発していることに加え、埼京線では学生が刃物を振り回す事件や稲毛～新検見川間では強風で飛んできた金属製の板が線路を支障する事象なども発生している。このような様々な不安要素がある中で、現場実態と乖離したまま、施策を進めることは認められない。千葉地本は、ワンマンプロジェクトを通じて、安全第一の職場風土を確立するために安全議論を強化して立ち向かっていく。

全国で未だにハラスメント行為や不当労働行為が後を絶たない。健全な会社を目指すため、「被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」「不当労働行為損害賠償請求」「埼玉県労働委員会への救済申し立て」の裁判闘争に対して、同じ事象を起こさないために立ち上がった仲間を支援、ビラ配布や報告集会に参加していく。この裁判闘争を知らない組合員をつくらないため、全組合員との総対話行動の貫徹に向けて、船橋統括センター分会の取り組みを教訓にしていく。JRバス関東成田空港支店で、課長が組合員を人格否定、差別発言で病気休職に追い込んだことは断じて許すことはできない。バス関東申6号団体交渉では、職場からのたたかいはつくり出すことによって課長のハラスメント行為を認め、再発防止と組合員が職場復帰できる環境をめざすことを確認させたことは大きな成果である。

現在、過半数代表者選挙が各職場で行われている。今年は、人事賃金制度の改正や組織再編が実施され、大きな転換点を迎える。社友会は、会社に付度し社員を守らないため、未加入者から不信や不満の声が出ている。私たちは、職場の組合員・未加入者と議論を深め、過半数代表者選挙に勝利しよう！

第51回衆議院議員選挙で自民党が歴史的な大勝を収め、私たちの推薦候補者が議席を失ってしまった。このままでは、労働者にとって明るい未来は望めない。しかし、私たちは諦めることなく、労働諸法制や憲法改悪反対を訴えて、平和な社会を求めていく。

大会以降、4名の組織拡大を実現してきた。加入理由として「社員のことを考えない会社姿勢」「上司に相談しても声が届かない」など会社への不満が述べられ、一方で、「労働組合に加入しないと自分を守ることはできない」などの労働組合の必要性を感じ、加入を決意した。未加入者と積極的に関わり、不満や悩みなどつかみ、会社の狙いを明らかにして、会社に幻想を抱かない仲間を増やし、「安全・健康・ゆとり」ある職場をつくり出していこう。そして、千葉地本1000名組織を実現するために「組織拡大と要求実現は両輪だ！」を合言葉に組織強化・拡大を実現していこう！

以上、宣言する。

2026年2月17日
東日本旅客鉄道労働組合
千葉地方本部
第46回定期委員会